

## 事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービスおとのわ		
保護者評価実施期間	令和7年10月1日～令和7年10月31日		
保護者評価有効回答数	対象者数： 37 名	回答者数： 36 名	
従業員評価実施期間	令和7年10月1日～令和7年10月31日		
従業員評価有効回答数	対象者数： 8 名	回答者数： 7 名	
事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

### ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分理解・観察し、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで支援プログラムや個別支援計画が作成され、説明をしていること。	児童発達支援管理責任者が全指導員の意見を聞き、ニーズや課題を客観的に把握・分析・支援方針の共有を図っている。	個別支援計画に沿った支援が実行されているか、全職員で検討し、さらに目標設定や子どもが楽しめるプラン設定を行っていく。
2	お子様の状況・状態を関係各所と情報共有し合い、心身の健康や発達の状況等について共通理解を深め、お子様方が安心感・楽しみを持って通所していること。	その日の様子をしっかりと保護者様に伝え、共通理解を行い、子どもたちとのラポール形成に努めている。	保護者様や関係各所と協同しあい、より充実した活動や日常生活が送れるよう支援していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子供たちとの接点が少ないこと。	利用児がデイと併用して利用している放課後等児童クラブとのかかわりが主となっている。地域のお子様と一緒に活動する機会は少ない。	今年は地域の方々もお招きし夏祭りを開催したが、もっと広報・周知を広げより多くの方と交流できるよう工夫していく。
2	保護者様同士の交流の場が少ないこと。	常時保護者様の参観・見学は可能であるが周知が不十分であることや、保護者会も1週間の開催日を設けたことで、1日当たりの参加人数にばらつきがあり交流できる人数としては少なかった。	保護者会・保護者勉強会の開催や県内でのイベント情報のご案内を行い、保護者会では高い参加率であったが回数が年1回開催であるため、回数の調整や複数回参加できるイベントの企画を行っていく。
3			